



令和3年5月号

< 5月の予定 >

- ◎稽古時間： 木曜日・・・17：00～19：00（稽古場所は針ヶ谷小学校体育館）
土曜日・・・15：00～17：00（稽古場所は駒場体育館）
- 8日（土） 定期総会（駒場体育館第1体育室）
- 22日（土） 竹刀の手入れと稽古着・袴のたたみ方講習会 15：00～17：00
※新入会員対象（駒場体育館）

< 6月の予定 >

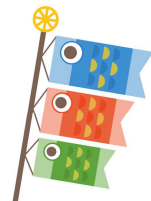
- ◎稽古時間： 木曜日・・・17：00～19：00（稽古場所は針ヶ谷小学校体育館）
土曜日・・・15：00～17：00
（稽古場所は駒場体育館及び本太中修道館剣道場）
- 13日（日） 浦和剣道大会（大宮武道館）→ 中止
- 26日（土） 前期昇級審査会

< 7月の予定 >

- ◎稽古時間： 木曜日・・・17：00～19：00（稽古場所は針ヶ谷小学校体育館）
土曜日・・・15：00～17：00
（稽古場所は駒場体育館及び本太中修道館剣道場）
- 25日（日） 塚越剣友会交流会（蕨東小 体育館）9：00～ ※大人のみ
- 31日（土） イベント説明会 15：15～（南箇公民館 講座室）

※ 状況により中止や稽古場所の変更があります。

詳細等は slack でご確認下さい。





本荘先生からのお言葉

新緑が美しい風薫る5月になりました。何度目かの緊急事態宣言が東京に出され、さいたま市もまん延防止等重点措置が適応されており、ゴールデンウィークといえども外出がままならない状況です。そんな中でも駒剣の稽古は継続できていますので、ありがたいと感謝し、感染予防対策をとりながら続けていきましょう。

ずっと大会ができないできましたので、6月のさいたま市浦和剣道大会は開催しなかったのですが、現状を鑑みて早目に中止の決断となりました。大変残念です。内部での試合を組みながら、状況を見て対外的な試合及び稽古を取り入れていきたいと思っています。7月の塚越剣友会との交流会は今のところ実施する方向で動いています。ただ、コロナ禍であり塚剣さんの小学生会員が少ないことから、今年度は大人だけの会にさせていただきます。本来はお招きする番ではありますが、7月25日(日)9時から蕨東小学校の体育館での開催となります。可能な錬成部の方はご参加お願いいたします。8月の夏合宿も昨年度に引き続き中止といたしました。合宿委員さんを中心に日帰りのイベントを計画してくださっています。初めてのことでありますのでどんな内容になるのか楽しみにしましょう。

少し前ですが、秩父に行くことがあり、朝起きたら夜半の雨の影響で一面の朝靄、視界がほとんどない状態でした。それでも車で少し山に登ったら美しい雲海と日の出が目の前に。感動しました。何も見えない、何もできないと嘆くだけではなく、自ら動いて場所を変えたり考え方を変えたりすれば見えるものやできることが変わってくるのだとあらためて感じた次第です。繰り返しになりますが、皆で力を合わせ創意工夫しながらやっていきましょう。



秩父ミュージックパークからの景観

こここのところの駒剣稽古について少し報告します。

土曜日の柔道場には基本組、初心者組が大勢いて一生懸命稽古しています。錬成部の先生方がしっかり指導に当たってくださいています。師弟同行、見ていて頼もしく感じています。もちろん剣道場でも気合の入った稽古が行われています。夕方からの修道館での稽古には、OBの西先輩がよく来てくれ、後輩の石田(陸)先輩を連れてきてくれたりします。高校生となり剣道部に入部した西岡さんや中学生になった秋本君もよく来てくれてます。熱心な錬成部の方々もそうですが、剣道をやろう、稽古がしたいという人がいらっしゃる事が、生活の張りとなり励みとなっています。暑さを感じる季節となり、3時からの指導と6時からの稽古を終えると身体は相当疲れますが、精神的には非常に充実した時間となります。ありがたいことです。

本日の定期総会もよろしくお願いいたします。先の見えにくい一年になりますが、Slackなどで意思疎通を図り、皆で情報共有することを大事にしていこうと思います。



太郎の百錬自得



第 86 回

ゴールデンウィークはどう過ごされましたでしょうか？

東京都が施設が閉鎖になり、私は稽古の機会が減ってしまいました。ただ、剣縁のある先生方に稽古に誘ってもらったりもしています、ありがたいものです。また、本太中修道館も継続で使用でき、貴重な稽古の場になっています。

さて、4月以降新入会員さんが増えてきて、嬉しく思っています。コロナ禍、人数制限もあり、土曜の駒剣は参加を控えています。木曜参加できる組のみなさんとは13日からまた稽古一緒にできる予定です。先生方がいろいろ工夫を重ねてご指導くださっているので、みんな楽しく稽古できているようですが、初心者の方が、本当に剣道の楽しさがわかるのはもう少し先になります。どうか目先のことだけを考えずに長い目で継続していただくことをお願いします。

剣道の楽しさとは、なんでしょうか。いろいろ人によって意見はあると思いますが、私は、相手との駆け引きにあると思います。駆け引き、といっても、真っ向から自分をぶつけあって相手の崩れを誘い、その瞬間を間髪入れず打突する、ということだと思っています。この駆け引きができるようになるには、気剣体の一致が不可欠です。自分の気持ちと竹刀と体が連動するまではなかなか時間がかかります。

私も初心者の小中学生にここ10年くらい指導してきました。が、どうやればよいかについては、常に試行錯誤し、今も模索している状態です。ただ、まず気、が大事です。簡単にいえば、礼法、所作やあいさつ、発声をしっかりするってことです。ここができないまま刀法や身法を教えると、なにか魂の入らないものになりかねないと感じています。まずはきびきびとした所作や元気のあるあいさつができるように心がけましょう。

剣友会に入ることの良さもあります。普段会うことのない仲間と出会えます。なかには一生の友人になるかもしれない人もいるかもしれません。コロナ禍はなかなか難しいですが、他の剣友会や道場との交流もあります。剣道を学ぶ、という同じ意思のもとに集まった仲間はまた小学校のクラスの仲間とは違った良さがあるかと思っています。また剣道は世代を超えて稽古します。年下の子はもちろん大人の会員まで交流ができるのも良さかと思っています。

6月の大会は、小学生だけでもということで検討していたようですが、残念ながら中止になったと聞きました。目標が作りにくい状況ではありますが、ワクチンの接種がはじまるなど、全く希望がないわけでもありません。人類は数々の危機を乗り越えてきました、力を合わせれば必ず今回も乗り越えられるはずです。私は、無事に収束したら、やりたいことも増えてきました。いつかは実現できると信じ、収束したらやりたいリストを作っておきませんか？

それでは！



新ジャイアンのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？

おいおい、先月号で緊急事態解除って言ってたら、また緊急事態宣言だって！

埼玉は、緊急事態宣言ではなく「マンボウ」だけど、結局、緊急事態宣言とたいして変わらない感じだな。おっと、「まん延防止等重点措置」ってちゃんと言わないといけないんだった。確かに、魚の「マンボウ」のイメージが悪くなっちゃうもんな。ジャイアンもマンボウ、結構好きだな。こんなふうに悪気がなくても、関係ない人（魚）に迷惑がかかっちゃうこともあるから、気をつけた方がいいな。

さて、たまには、剣道のはなしをしないとな。

コロナのおかげで、試合がなかなかできないから、みんな試合のやり方を忘れちゃったんじゃないかな？

それと、まだ、駒剣以外で試合をしたことがない人もいるかも知れないな。

そこで、今回は、ジャイアン風試合の心構えの話だ。



試合って、緊張するよな。緊張すると、いつもの稽古でできていることができなかつたり、いつもはやらないトンチンカンなことをやっちゃったりするよな。そして、そうなっちゃうと負けちゃうことが多くて、くやしい思いをすることになるぞ。

じゃあ、どうすればいいのかな？

答えは簡単。緊張しないで、いつもの稽古のようにやればいいんだよな。

でも、どうすれば、緊張しないのかな？ここが問題だな。

なんで緊張するのかっていえば、1つは、相手がどんな人なのか、どのくらい強いかわからないから、不安を感じるんじゃないかな。それと、いつもと同じにできるかどうか、心配になるんじゃないかな。試合がどんなふうすすむのかわからないってこともあるかもな。

試合のやり方やすすみかたは、駒剣の月例試合なんかで、ちゃんと試合の手順を覚えればどうってことないな。あとは、相手に対する不安だけど、そんなもの、いくら考えたってどうにもならないよな。だから、思い切って、全力を出し切るしかないんだ。

相手が自分より強くて負けちゃうなら仕方ないよな。でも、ちゃんとやれば勝てる相手に、びびって負けちゃたらくやしいよな。剣道は、防具があって、打たれても、命を取られるようなことはないんだから、思い切って打つのが大切だ。

そして、この「打たれてもいいから、ちゃんと打つ」、つまり、捨て身で打つっていうのが、剣道では大切なんだ。打たれないようによけながら打ったって、技が決まるはずないよな。でも、それは、ちょっとこわいよな。だからこそ、大きな気合を出して、思いっきり、いちばん自信のある技を出すのがコツなんだ。

今回は、ちょっと難しかったけど、結局、試合に勝つためには、自分の感じているこわさを吹っ飛ばすような大きな気合を出して、打たれてもいいから、捨て身で、思い切った技を出すことが大切だ！っていうお話でした。

みんなの活躍する姿を楽しみにしているぜっっ！

じゃあ、またな！

石井の etc 日記

かつて
アルテュール・
ランポーは
詩に書いた

「
見つけた
何を
永遠を」

